

Appendix 2. セットアップ手順 (オートベンドクライアント)

A 2 - 1 . オートベンドクライアントのインストールが必要な場合

- 1 - 1 . オートベンドクライアントが必要な PC は AutoVend をインストールした PC に LAN 接続して AutoVend を利用する PC です。
AutoVend をインストールした PC にはオートベンドクライアントをインストールしないで下さい。

A 2 - 2 . CD の構成

CD -----	AutoClnB	(AutoVend をインストールした PC に LAN 接続して AutoVend を利用する PC にインストールします)
-----	AutoShoB	(AutoShow を利用する PC にインストールします)
-----	AutoUtIB	(AutoVend をインストールする PC にインストールします)
-----	AutoVenB1	(AutoVend と MicrosoftAccess2002 のランタイムをインストールします)
-----	AutoVenB2	(AutoVend をインストールします)
-----	Dummy	(MicrosoftAccess2002 のランタイムとダミー用の MDE プログラムをインストールします。 AutoVend をインストールした PC に LAN 接続して AutoVend を利用する PC に MicrosoftAccess2002 のランタイムをインストールするのに使用します)
-----	SamplePicture	(サンプル画像が入っています)

評価版の CD は上記の構成とは異なります。

A 2 - 3 . MicrosoftAccess2002 ランタイムのインストール

AutoVend をクライアント利用するには MicrosoftAccess2002 が必要です。

- 3 - 1 . AutoVend クライアント利用する PC に MicrosoftAccess2002 がインストールされて

いない場合はランタイムをインストールする必要があります。

Dummy のフォルダからランタイムをインストールして下さい。

- 3 - 2 . 既に MicrosoftAccess2002 がインストールされている場合は A 2 - 5 に進んで下さい。

A 2 - 4 . Dummy のインストール

- 4 - 1 . Dummy フォルダ内の SETUP.EXE を実行して下さい。
インストール途中に問合せメッセージが表示される場合はインストーラーが推奨する選択を行なって下さい。
インストール先のフォルダは c:\program files\AvClient が基本になります。
ドライブ及びフォルダの変更は可能です。
インストール途中に問合せメッセージが表示される場合はインストーラーが推奨する選択を行なって下さい。
- 4 - 2 . インストール終了後に再起動の問合せメッセージが表示される場合は再起動を行なう選択を行って下さい。
再起動後もインストールが継続される場合がありますので CD はそのままにしておいて下さい。

A 2 - 5 . A u t o C l n B のインストール

- 5 - 1 . A u t o V e n d の C D R O M をセットします。
- 5 - 2 . マイコンピュータから C D R O M ドライブを開き、A u t o C l n B のフォルダを開きます。
- 5 - 3 . S E T U P . E X E をダブルクリックして実行します。
- 5 - 4 . 以降はセットアップのメッセージに従ってセットアップを続けて下さい。
インストール先のフォルダは c : ¥ p r o g r a m f i l e s ¥ A u t o C l n B が基本になります。
インストール途中に問合せメッセージが表示される場合はインストーラーが推奨する
選択を行なって下さい。
- 5 - 5 . A u t o C l n B のセットアップが終了したらシステムリソースをクリアする為に一度
パソコンを再起動して下さい。

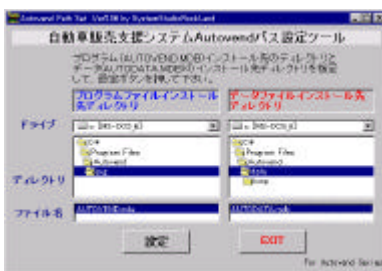
ご注意

- ・インストール中に書換えできない旨のメッセージが表示される場合は [無視] を選択して下さい。
- ・インストール中にファイル書き換えの問合せがあった場合は O S の推奨する選択を行なって下さい。

A 2 - 6 . 環境設定

- 6 - 1 . A u t o V e n d をインストールした P C の A u t o V e n B フォルダを任意のドライブに
ネットワーク接続して下さい。
この際に「ログオン時に再接続」のチェックをして下さい。

- 6 - 2 . スタートメニューの A u t o C l n B を起動して環境設定をクリックし、下図の画面を
表示してネットワーク接続した P C にインストールされて



いるプログラムとデータのディレクトリを指定して下さい。
通常プログラムディレクトリは A2-6-1 で接続したネットワーク
ドライブのルート（一番上）にデータディレクトリは data デ
ィレクトリの中にあります。
両方ともファイル名が表示されたら、[設定] ボタンをクリックして
下さい。
パスワード要求がある場合は弊社よりご連絡したパスワードを入力
して下さい。

A 2 - 7 . ショートカットの作成

- 7 - 1 . 下記を参考にしてショートカットを作成して下さい。

(リンク先)

```
" C : ¥ P r o g r a m F i l e s ¥ C o m m o n F i l e s ¥ M i c r o s o f t S h a r e d ¥ A c c e s s  
R u n t i m e ¥ O f f i c e 1 0 ¥ m s a c c e s s . e x e "  
/ R u n t i m e X : ¥ A u t o V e n B . m d e "
```

と は半角スペースです。

をはさんで左側はインストール済みの msaccess.exe (ランタイム) を指定します。

をはさんで右側は A2-6-2 で設定した AutoVenB.mde をパス名を含めて指定します。

X には A2-6-1 でネットワーク接続した任意のドライブを指定して下さい。

上記の例はランタイムの Access2002 の場合です。

製品版の Access2002 の場合は はさんで左側が

```
" C : ¥ P r o g r a m F i l e s ¥ M i c r o s o f t O f f i c e ¥ O f f i c e 1 0 ¥ m s a c c e s s . e x e "
```

になる場合が一般的です。

(作業フォルダ)

作業フォルダは上記例の製品版の場合は

```
" C : ¥ P r o g r a m F i l e s ¥ M i c r o s o f t O f f i c e ¥ O f f i c e 1 0 ¥ "
```

ランタイム版の場合は

“C:¥Program Files¥Common Files¥Microsoft Shared¥Access Runtime¥Office10¥”
になる場合が一般的です。

7 - 2 . アイコンは A2-6-2 で設定したフォルダの CARSa.ICO をご利用下さい。

7 - 3 . ショートカットの名前は AutoVend 等、ご利用者で判断し易い名前を任意に設定して下さい。

A 2 - 8 . 動作確認

8 - 1 . A 2 - 7 で作成したショートカットをを起動しメインメニューが表示されればインストール及び環境設定は正常に終了しています。